

「学ぶ土台づくり」便り

幼児教育と小学校教育を
つなげるために行う

架け橋プログラム

架け橋プログラムとは、「架け橋期」（5歳児から小学校1年生までの2年間）の教育の充実を図るため、保幼小の先生はもとより、保護者や地域住民等の子供に関わる大人が立場の違いを越えて自分事として連携・協働し、子供一人一人の多様性に配慮した上で、全ての子供に学びや生活の基盤を育めるようにすることを目指すものです。

子供たちの学びをつなげています！

白石市

「開発会議」の下に市校長会
が中心となり「運営会議」を
設置、中学校区で取組を推進

文部科学省委託
R4～6年度

気仙沼市

これまでの事業を継続しなが
ら「架け橋プログラム推進
室」が主体となり推進

県モデル市町
R7年度～

美里町

地域の方も含む連携推進委員
会を立ち上げ、中学校区がチ
ームとなり取組を推進

県モデル市町
R7年度～



研修動画を御活用ください！

「架け橋プログラム」について、2本の
研修動画を作成しました。「架け橋プロ
グラムは何から始めたらいいのか」等、
悩みを抱えている先生方に参考
にしていいただければと思います。



「架け橋期のカリキュラム」を 作成しましょう！

架け橋期のカリキュラムシートのイメージをお示し
しました。幼児教育ポータルサイトでダウンロードす
ることができますので、「架け橋プログラム」の研修
動画を参考にしながら、各地域の実情に応じて御活用
ください。

架け橋プログラムを持続可能な取組にしましょう！

Check 1

幼児教育においては遊びを通して小学校以降の学びの芽生えを培い、小学校ではその学びの芽生えをさらに伸ばしていくことが重要です。そのためには、**幼児教育と小学校教育の円滑な接続が欠かせません。**

Check 2

「架け橋プログラム」を持続可能にするために、**地域の特性を活かした体制づくり**が大切です。年度が変わっても体制が続いていること、そして取組をされた先生方が異動先の新たな環境でも、その学びを活かすことが求められます。

